

■令和3年10月18日号(第1758号)

- ・港湾知事協議会 国交省と意見交換会開催＝4年度事業要望書を手交
- ・港湾局 ブルーカーボン検討会開催＝面積の把握やオフセット制度など
- ・港湾局・エネ庁 八峰町沖の公募占用指針＝洋上風力で意見募集開始
- ・北陸地整 日本海交流ネットワーク＝3年度総会と講演会開催
- ・港湾局 クルーズ受入高度化事業＝事業実施に4港を選定
- ・港湾局 サイバーポート導入52社に＝新たな紹介動画も公開
- ・横浜港・川崎港 CNPセミナーを開催＝形成周知し、地域総動員へ
- ・千葉港 船橋地区海岸保全施設＝来年度直轄事業要望へ
- ・鹿島港 洋上風力発電基地港湾＝直轄維持管理方策等検討
- ・遊佐町沖 洋上風力の協議会設置へ＝令和3年度検討部会初回
- ・名洗港 防波堤新設等を計画中＝洋上風力発電事業に対応
- ・敦賀港 鞠山北防波堤改良＝港内静穏化へ強化
- ・苫小牧港 西港区中央北ふ頭が進捗＝来年度に整備完了～供用
- ・新潟東港 エクイスのバイオ発電所＝東北電力参画も岸壁未定
- ・秋田洋上風力発電 秋田港・能代港施設建設＝すべての基礎杭打設完了
- ・和歌山下津港 海南地区に耐震強化岸壁＝本港地区の機能強化も検討
- ・別府港 水深9mフェリーバースを要望＝ふ頭の再編事業も今後対応
- ・三島川之江港 金子地区水深9m岸壁＝施工検討業務を手続き中
- ・広島空港RESA 造成工事その2を準備＝サイクリングロードの付替えなど
- ・広島港海岸 中央東地区矢野護岸改良＝本体工、護岸基礎工など
- ・八尾空港 ヘリ用エプロン舗装改良＝整備計画検討業務手続き
- ・名古屋港 ポートアイランド仮置土砂＝新処分場への搬出検討など
- ・荻田港 本港地区水深10m岸壁改良＝先行の第1Bは修正設計
- ・姫路港 大阪ガス等がバイオマス＝広畑地区公共岸壁使用
- ・福岡市 アイランドシティ港湾用地＝AB区画分譲予定者決定
- ・JOPCA・OCDI 港湾を巡る世界の動き＝海外体験等を踏まえ講演
- ・海洋・港湾構造物設計士会 インフラづくりと価値創造＝第13回研修会開催
- ・政府 洋上風力評価要件を緩和＝10月31日から5万kW以上に
- ・環境相 潟上市・男鹿市・秋田市沖＝洋上風力配慮書意見提出
- ・中部地整 オアシス浜名湖で輸送訓練＝港湾業務艇を初めて活用
- ・応用地質 NEDO洋上風力で採択＝海底地盤調査で20億円
- ・ENEOS 再エネ事業のJRE買収＝大規模再エネ電源を獲得
- ・商船三井 海底ケーブル敷設で協業＝洋上風力需要の獲得狙う
- ・レノバ 「世界洋上風力フォーラム」入会＝浮体式など国際連携促進
- ・神戸港 トライアル支援事業募集＝環境負荷の少ない輸送へ

- ・「国土技術開発賞」＝沿岸センター、募集開始

■令和3年10月11日号（第1757号）

- ・国土交通省 齊藤大臣が就任会見＝港湾整備の重要性語る
- ・齊藤新大臣 専門紙会見で質疑応答＝「洋上風力で世界に向けた提案も」
- ・環境省 着床式廃棄の考え方公表＝残置部分や撤去方法など
- ・埋浚協会 各地方整備局と意見交換＝4週8休など3テーマ要望
- ・横浜市・商船三井 クリーン燃料船覚書締結＝就航促進と円滑な受入
- ・国交副大臣に中山展宏氏＝泉田政務官ら3人も就任
- ・清水港 大規模災害へ支援体制強化＝TEC-FORCE、港湾業務艇を派遣
- ・国交副大臣に中山展宏氏＝泉田政務官ら3人も就任
- ・茨城港・鹿島港CNP形成計画原案策定＝洋上風力促進区域も視野
- ・北陸地整・埋浚協会 若手技術者勉強会開催＝BIM/CIM等テーマ
- ・関東地整 横浜港・川崎港CNP＝陸電導入とロードマップ
- ・稚内開建 稚内北防波堤改良促進＝枝幸港では屋根付栈橋
- ・苫小牧港 東南アジア航路誘致＝インセンティブ制度創設
- ・苫小牧港 双日と日本製紙がバイオマス＝勇払ふ頭1号岸壁を利用
- ・東京港 橋梁・トンネル長寿命化＝約250億円規模で実施
- ・東京都港湾局 東京港港勢速報発表
- ・東北電力など 酒田港近隣でバイオマス＝北陸地区小湊埠頭を利用
- ・千葉港 八幡地区でバイオマス＝八幡所有の岸壁を利用
- ・石狩湾新港 工業団地内にバイオマス＝西埠頭岸壁の利用を予定
- ・東北地整 災害時事業継続認定制度＝今回18社認定で計76社
- ・四日市港 霞北ふ頭国際物流ターミナル第2B＝地盤改良工事の手続き開始
- ・中国地整 第4回徳山下松港CNP＝新エネ資源潜在需要など
- ・大阪府・市 夢洲地区IR運営事業＝MGM・オリックスに
- ・四国地整 四国ブロックの重点計画＝大地震対策で高知港整備
- ・長洲港 土砂処分場の整備へ＝計画段階環境配慮書縦覧
- ・四国西南航路 航路水深3m保全事業＝奥南、細木、船越3航路
- ・境港 背後地に米子バイオマス＝国際コンテナターミナル岸壁利用
- ・日鉄エンジ・TOYO 唐津バイオマスを受注
- ・三河港蒲郡地区 中部電力等のバイオマス＝蒲郡・浜町埠頭の岸壁へ
- ・下関港 リフレッシュ瀬戸内＝御船手海岸で清掃活動
- ・RSO 第2回WEBフォーラム開催＝いであ「YOUZAN」、港湾空港DX
- ・スマートエネルギーWeek 秋 東京ビッグサイトで開催＝国内外480社が出展
- ・海事局 第14回海洋立国功労者＝洋上風力政策で來生氏選出

- ・みなと総研ら 北東アジア政策懇話会＝北極海航路の最新動向報告
- ・長崎県 西海市江島沖協議会＝国交省地盤調査問題なし
- ・経済産業省 洋上風力低コスト化事業＝NEDOが公募を開始
- ・茨城県ほか 産業立地セミナーを開催＝飛躍伺う半導体産業誘致
- ・小松島港・空事務所 和歌山市へ飲料水輸送＝近畿地整らは給水袋協力
- ・東京ガス・九州大ほか JST研究支援に採択＝洋上風力コスト削減へ
- ・中部地整 清水港湾事務所100周年＝動画パンフをウェブ公開

■令和3年10月4日号（第1756号）

- ・港湾局・エネ庁 秋田八峰町沖促進区域＝公募占有指針を共同検討
- ・SCOPE 第5回洋上風力セミナー開催＝MWSの取組状況等報告
- ・日米豪印首脳会議 グリーン港湾インフラ形成＝脱炭素化等の共同声明発表
- ・土木学会 エネルギー委員会講演会＝CO₂のリサイクル活用も
- ・国土政策局 国土審議会計画部会初会合＝新国土形成計画議論開始
- ・関東地整 横浜港・川崎港CNP＝第2回形成推進会議開催
- ・釧路港 新海面処分場整備着手＝島防波堤は盛土安定化工
- ・北陸地整 新潟港CNP検討会＝県と企業が取り組み報告
- ・東北地整 酒田港CNP検討会＝年度内のとりまとめ確認
- ・根室港 屋根付栈橋整備中＝農産物の輸出促進強化
- ・羅臼漁港 清浄水を活魚施設に＝WTOで取水管工事
- ・東北クルーズ振興 カンファレンス開催＝ウィズ・コロナのクルーズ
- ・釜石港 湾口地区防波堤＝強靱化対策工の検討など
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震強化で海底地盤改良
- ・石垣港 クルーズ関連整備を実施＝外郭施設延伸や土砂処分場
- ・高松港 朝日地区フェリーバース＝船尾部係船岸を手続き中
- ・姫路港 広畑地区臨港道路計測＝橋梁構造形式など検討に
- ・和歌山下津港 北港地区防波堤（南）延伸＝被覆、根固工を新規発注
- ・北九州空港 RESA用地造成工へ＝夜間作業時間帯で実施
- ・下関港 新港地区岸壁240m＝耐震性照査検討業務
- ・苅田港 航路水深13mの深浅測量＝トレンチ浚渫の効果検証
- ・徳島飛行場 場周道路の法面補強工＝RESA基本設計も進む
- ・神戸港 第2回CONPAS試験＝ゲート処理時間大幅削減
- ・中部地整 中部ブロック重点計画①＝経済・観光で港湾の役割
- ・外国人特定技能者 海洋土木工の人材確保へ＝11月に学科・実技評価試験
- ・埋浚協会 港湾技術報告会を開催＝DX、CN等取組を報告
- ・沿岸C・国技研 国土技術開発省表彰＝合計11の優秀技術顕彰

- ・東洋建設 BIM/CIM属性自動付与=入力作業を無くしデータ管理
- ・土木学会 令和3年度土木学会全国大会=オンライン開催で手応え
- ・日建連 海保庁栗井参事官が講演=研修会開催、荒天時の船舶安全確保等
- ・港湾局 みなとマイスターを表彰=令和3年度は局長賞2名
- ・港湾局・海事局 第2回クルーズ事業採択=安全受入・寄港促進の4件
- ・海事局 海事産業強化法認定制度=洋上風力浮体のJMU等
- ・エクシオと昭和電線 洋上風力分野で業務提携=施工工事に電線部品供給
- ・ウェザーニューズ AI技術で洋上風力支援=洋上エネ気象チーム新設

■令和3年9月27日号（第1755号）

- ・港湾局 秋田八峰町沖が促進区域=有望区域追加等海域整理
- ・新潟県・山形県 洋上風力有望な地域選定=両知事がコメントを発表
- ・四国地整 第2回CNP形成勉強会=モデル港に高松、坂出、新居浜港
- ・港湾局 CNP形成へ実証事業=安全・技術面で設計へ
- ・港湾局 海岸保全施設長寿命化=主幹課長会議で取組紹介
- ・関東地整 港湾空港部の紹介動画=事業周知へ広報活動促進
- ・関東地整 茨城港等CNP・WG=議事要旨・次回計画原案
- ・羽田空港 シールドトンネル基本設計=引上げ部線部は土質調査
- ・青森港 油川地区未利用ふ頭=岸壁化の設計条件を把握
- ・仙台塩釜港 向洋地区水深14m岸壁=上部工、GC基礎頂部工設計
- ・レノバ 石巻港でバイオマス発電=燃料は雲雀野中央・北埠頭
- ・関東地整 工事発注見通し（9月現在）=羽田A誘導路地盤改良等
- ・福岡空港 滑走路新設工事手続きへ=地盤改良済区間が対象
- ・平良港 大型クルーズバース今年度完成=漲水地区第2バース整備中
- ・三河港 神野地区水深10m岸壁=地盤改良工等施工法検討
- ・熊本空港 排水施設基本設計=豪雨時の排水能力維持
- ・万関瀬戸航路 吹付法面の現況調査=赤外線映像処理・解析
- ・高知空港 排水施設実施設計=設定降雨量増加に対応
- ・八代港外港地区 来春バイオ発電建設開始=今後、利用岸壁の選定へ
- ・沖縄県 4年度予算概算要求=港湾整備に150億円
- ・王子ら 徳島県阿南市バイオマス=来年9月発電所運転開始
- ・JAPEXら 長府にバイオ発電所建設=来年6月の稼働目指す
- ・神戸港 国際フィーダー航路拡充=井本商運に試行事業委託
- ・名古屋港管組が作成=要覧と「Port of Nagoya」
- ・長崎県壱岐市 第1回洋上風力協議会要旨=3つのエリアで検討深掘
- ・東亜建設工業 鋼板接着併用型タフリードPJ工法=栈橋鋼管杭の頭部腐食対策

- ・環境相 秋田県八峰町・能代沖＝洋上風力配慮書意見提出
- ・JRE 長崎県西海江島洋上風力＝ドイツ老舗企業と協業開始
- ・中国地方国際物流戦略チーム 呉港利用者懇談会開催＝RORO定期船就航期待
- ・中部地整 中部ブロック重点計画＝基幹産業支援と防災など
- ・九州地整 海輝と海煌が有明海清掃＝漁船と共同で漂流物回収
- ・東電RP グリーンボンド発行確定＝洋上風力等に300億円
- ・八峰能代沖洋上風力＝最大出力倍増に計画変更
- ・日揮グループ マレーシア社と共同開発＝洋上向け遠隔操業可視化
- ・PIANC日本部会 オンラインセミナー開催＝洋上受け遠隔操業可視化

■令和3年9月13日号（第1754号）

- ・港湾局 重要港湾主幹課長会議＝予算、重点施策の方向示す
- ・港湾局 第2回CNP検討会概要＝燃料ハブ構想や協議会など
- ・経済産業省 エネルギー調査合同会議＝洋上風力野心的目標提示
- ・中部地整 白龍、伊勢湾漂流物回収＝7日間で約4ヶ月半の量
- ・第6次エネルギー基本計画＝パブリックコメント開始
- ・沿岸センター 海・港構造物維持管理士会＝資格試験と講習会参加者募集
- ・航空局 空港技術報告会議題募集＝脱炭素化取組テーマ
- ・羽田空港 旧整備場地区護岸地盤改良＝薬液注入で地下層を固化処理
- ・関東地整 茨城港等CNP・WG＝進行方法確認や企業動向
- ・八代港 航路泊地付帯施設＝余水吐、護岸隅角部など設計
- ・秋田港 外港地区第二防波堤＝プレキャスト化等検討
- ・仙台港 バイオマス発電所＝住商合同会社が建設
- ・北九州港 基地港湾、5年度供用へ促進中＝響灘地区、これから岸壁本体工に
- ・内閣府 第1回沖縄CNP懇談会＝3年度3回開き、方向示す
- ・沖縄の社会資本重点計画＝平良港複合一貫輸送ターミナル等
- ・衣浦港 水深12m岸壁、臨港道＝技術検討業務を実施へ
- ・清水港 県の計画に認定書を交付＝産地・港湾連携で輸出増進
- ・鳥取港 千代地区防波堤（西）＝細部設計、施工検討業務
- ・農林水産省 令和4年度予算概算要求＝漁業機能増進と水産基盤
- ・環境省 4年度予算4100億円＝洋上風力で新規枠を追加
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝6件の実証実験を採択
- ・港湾局 第2回基地港湾検討会要旨＝隣接岸壁と海底地耐で意見
- ・2020年コンテナ取扱貨物量 港湾局速報値＝2166万TEU（前年比7.3%減）
- ・経産省 研究開発の予算額を試算＝洋上風力で上限1195億円
- ・環境省 「洋上風力と環境配慮」＝シンポジウムを開催

- ・清水建設 洋上風力トップシェアへ＝有力欧州企業と協業開始
- ・関電・RWE 洋上風力で共同検討開始＝推進へ補完的契約を締結
- ・三菱商事エナジーら 洋上風力共同検討で合意＝秋田で部品調達網構築へ
- ・RX Japan と JWP A 風力発電展を開催（9/29～10/1）＝洋上風力・バイオマスも
- ・レノバ 小松島港津田地区バイオ＝燃料船は隣接 10m岸壁利用
- ・秋田県 洋上風力発電保守研究会＝ウェブセミナー開催（9/28）

■令和3年9月6日号（第1753号）

- ・羽田空港 新たに人工地盤を整備＝国際・国内乗換え利便性へ
- ・港湾局 CNP 検討会が中間報告＝策定マニュアル草案も公表
- ・海事局 4年度概算要求 110 億円＝洋上風力推進で新規枠
- ・海事局 第4回内航CN検討会＝中間とりまとめを公表
- ・国土交通省 社会資本整備重点計画＝ストック効果最大化へ
- ・総合政策局 グリーンチャレンジ推進＝予算 2900 万円を要望
- ・みなと総研等 北東アジア政策懇話会＝9/24、北極海航路の動向など
- ・東京港 第9次改訂港湾計画へ＝長期構想の骨子素案提出
- ・北開局 北海道港湾の将来像まとめ＝グリーン&デジタル社会へ
- ・北陸地整 北陸ブロック重点計画＝日本海側拠点の基盤整備等
- ・佐伯港 女島ふ頭水深 10m岸壁＝耐震強化で背後液状化対策
- ・松山港 将来の整備計画を検討へ＝基礎調査等作業を開始
- ・関門航路 航路整備計画作成業務＝5年～9年度実施予定分
- ・姫路港 臨港道路広畑線延伸＝予備設計等手続き開始
- ・日立造船・東洋建設 サクシオンバケット基礎＝洋上風力発電へ実海域実験
- ・経済産業省 令和4年度の予算要望＝洋上風力に約 80 億円
- ・海事局長 30年CO2削減目標＝「181万t深堀り検討」
- ・政府 25年開催大阪・関西万博＝港湾インフラ整備計画等
- ・日本気象 洋上風力向け気象・海象＝予測Webサービスを開始
- ・中部国際空港 第二滑走路将来構想＝第1回検討部会を開催
- ・風力発電協会 洋上風力サミット開催＝北九州市で業界交流促進
- ・福岡市 アイランドシティ国際CT＝C2岸壁延伸部供用開始
- ・JFEエンジ 洋上風力PJチーム新設＝従来の基礎にO&M追加
- ・SCOPE 第5回洋上風力セミナー＝9/22、登録不要で聴講可能

■令和3年8月30日号（第1752号）

- ・来年度概算要求 港湾局関係 3066 億円＝CNPで新規制度・税制
- ・自民党港湾議連 4年度概算要求関連総会＝港湾整備・振興に関し決議

- ・航空局 整備勘定 3919 億円＝羽田で人工地盤整備着手
- ・神戸港 CONPAS 導入へ＝第 2 回試験運用を実施
- ・千葉港 水深 9 m 岸壁築造に着手＝関東地整、千葉中央地区ふ頭再編
- ・関東地整 関東ブロック重点計画＝震災対策と国際競争力
- ・石川県 令和 4 年度国への要望＝金沢・七尾・輪島港整備
- ・衣浦港 外港地区水深 12m 岸壁＝名古屋技調で基本設計へ
- ・九州地整・大阪航空局 北九州空港 3000m 化＝環境アセス方法書縦覧中
- ・高松港 港湾施設の技術検討＝防波堤と臨港道路整備
- ・岩国港臨港道路 3 号橋 P 1～P 3 上部工＝4 号橋 P 3 の下部工も進む
- ・細島港 RORO 岸壁予備設計＝水深 7.5m 耐震バース
- ・名古屋港 第 4 回 CNP 検討会＝3 つの新規 WG を設置へ
- ・防衛省 馬毛島基地港施設＝基地形成へ各種調査
- ・御前崎港 バイオマス発電所着工＝女岩地区で敷地 5.3ha
- ・八代港 大築島土砂処分場＝基礎捨石 2 件工事
- ・四日市港 四日市利用促進協議会＝滋賀地区説明会を開催
- ・大林組 洋上スカートサクシオン＝風車の支持性能を実証
- ・大阪ガスら 秋田県潟上市沖洋上風力＝配慮書を縦覧し意見募集
- ・ウィンドパワー 鹿島港洋上風力発電＝環境アセス方法書縦覧
- ・環境省 着床式の廃棄許可申請＝9 月 17 日まで意見募集
- ・パワーエックス 洋上風力電力を船で運搬＝事業発表と発足記者会見
- ・レラテックら 洋上風力の風況観測事業＝提携で高品質サービスへ
- ・東芝エネルギーシステムズ・東光鉄工＝ドローンで洋上風力点検
- ・ENEOS 水素 SC 構築に向け実験＝既存精油所・設備利用

■令和 3 年 8 月 23 日号（第 1751 号）

- ・港湾局 基地検討会で事務局示唆＝20MW 機で岸壁強化必須
- ・国土交通省 山田次官が就任会見＝港湾強化と洋上風力推進
- ・環境省 着床式洋上風力施設残置＝廃棄許可の素案を公表
- ・九州地整 馬毛島基地港湾整備＝ECI で係留施設技術協力
- ・北陸地整 八戸港へ「白山」派遣＝座礁流出油回収作業
- ・港湾局 国際クルーズ機能高度化＝第 2 回事業公募を開始
- ・港湾局・海事局 クルーズ環境の整備＝補助制度で公募を開始
- ・ミス日本「水の天使」＝赤羽大臣を表敬訪問
- ・伏木富山港 新湊地区 14m 岸壁改良等＝直轄事業、鋼管矢板やレール基礎
- ・横浜港 臨港パーク先端部整備＝港湾局が市民意見募集
- ・小樽港 南側護岸の改良＝色内ふ頭老朽化

- ・八代港 係留施設の基本設計へ＝加賀島地区水深 12m延長 230m
- ・高松港・坂出港 第 2 回検討委、長期構想の素案示す＝物流機能の強化、連携
- ・徳山下松港 石炭バルク戦略関連事業＝情勢見極めつつ継続実施
- ・衣浦港振興会 港湾機能強化へ勉強会＝金属スクラップ輸出等
- ・那覇港 新港地区第 2 クルーズバース＝来春暫定供用へ
- ・神戸港 第 4 回 C N P 検討会開催＝阿達総理補佐官が参加
- ・沿岸センター 宮崎理事長インタビュー＝技術情報の中枢機関に
- ・経産省・国交省 洋上風力の有望区域選定＝送電系統確保要件を緩和
- ・長崎県 壱岐市洋上風力発電＝導入エリア設定へ
- ・九州地整 第 1 回 苅田港 C N P 概要＝企業調査後に事務局案提示
- ・エネ庁・港湾局 秋田県八峰町と能代市沖＝洋上風力促進区域案公告
- ・港湾局・海事局 海洋周辺地域の訪日観光＝ 2 つの支援事業を開始
- ・経済産業省 第 6 次エネルギー基計＝策定に向け素案まとめ
- ・設計士会 第 12 回研修会を開催＝今後の技術基準のあり方

■令和 3 年 8 月 9 日・16 日合併号（第 1750 号）

- ・【夏季特集】遠藤国土交通省大臣官房技術参事官
- ・阿達雅志参議院議員／内閣総理大臣補佐官「港湾の新たな役割と期待」
- ・港湾局 第 2 回 C N P 形成検討会＝中間とりまとめ案を提示
- ・港湾局 洋上風力調査事業を選定＝北海道・山形・岩手の 3 海域
- ・港湾局 第 2 回基地港湾検討会＝地域振興とりまとめを議論
- ・関東地整 茨城 C N P 形成 WG 発足＝知事が C N 産業活性化へ
- ・東京港 中防内側に新規埠頭整備＝長期構想、ユニットロード機能強化
- ・伏木富山港 港湾施設のアセットマネジメント講座＝富山大学生が座学、現地実習
- ・横浜港 新本牧地区防波護岸＝本體工 2 件の手続き
- ・東北地整 東北ブロック重点計画＝港湾整備で物流機能向上など
- ・堺泉北港 汐見沖水深 12m 岸壁整備＝初弾工事を発注見通しに
- ・大阪港 北港南航路附帯施設整備＝護岸 2 開口部締切工事へ
- ・下関港 西山地区岸壁改良が完了＝バイオマス燃料船初入港
- ・神戸港 航路附帯施設基礎工事＝ 2 次築造工事 2 件を予定
- ・港湾局 洋上区域選定有識者会議＝これまで 5 回の要旨公表
- ・総合政策局 北極海航路産学官協議会＝日本港湾への寄港状況等
- ・エネ庁／港湾局 洋上風力指定ガイドライン＝国の系統確保支援明確化
- ・姫川港 西ふ頭 2 号岸壁で初荷揚げ＝熊本豪雨の災害廃棄物
- ・環境相 遊佐町沖洋上風力＝景観・鳥類への影響懸念
- ・環境相 あわら市沖洋上風力＝配慮書への意見提出

- ・国土交通省 中小企業の海外展開に＝「建設技術集」を日英版作成
- ・川崎地質／三国屋建設 水深 30m鋼製櫓を開発＝洋上風力で使途拡大図る
- ・岩谷ら 水素燃料電池商用旅客船＝夢洲～大阪市内就航目指す
- ・中部空港第2滑走路＝構想推進調整会議初会合
- ・近畿地整 阪神港オープンキャンパス＝座学やクルージング実施
- ・経済産業省 海底直流送電の調査開始＝北海道・本州間ルート探る
- ・高橋海事局長 就任会見で抱負語る＝「洋上風力進出は重要」
- ・横浜港 NEDO水素事業に採択＝CNP利活用調査に着手
- ・三井E&Sマシナリー 港湾荷役機器水素化事業＝NEDO助成に採択
- ・YPC・YKIP 100%再エネへ＝協力事業者の募集開始
- ・日本郵船ら 40年脱炭素化達成計画＝CN荷役機器を4基導入
- ・優良工事・業務・技術者等表彰

■令和3年8月2日号（第1749号）

- ・経済産業省 エネルギー基本計画素案＝洋上風力など再エネ主力
- ・日本空港ビル 羽田旅客施設を機能強化＝第1、2ターミナルにサテライト
- ・港湾局 港湾の工期ガイドライン＝地方・民間にも今後推奨
- ・港湾局 サイバーポート利用促進＝事業参加者18社決定
- ・港湾局 みなとオアシス八代登録＝世界最大級クルーズ拠点
- ・川崎港 埋設物移設が来年度完了＝臨港道路、水江町側アプローチ部
- ・北海道開発局 社会資本整備重点計画＝食料の安定輸送など課題
- ・増毛港 屋根付き岸壁が完成＝水産物輸出促進に寄与
- ・松本空港 官民連携手法を検討＝今年度は庁内合意形成
- ・川崎港 長期構想を検討＝夏以降に委員会
- ・舞鶴港 2岸壁の構造検討業務へ＝和田、前島地区の国際バース
- ・大阪湾岸道路 西伸部主塔の土質調査へ＝基本設計業務に結果反映
- ・広島港 宇品ふ頭の再編改良事業＝東端部の陸上地盤改良工
- ・北海道局 北海道開発分科会を開催＝計画推進部会、第8期総合計画中間検討
- ・秋田由利本荘洋上ウィンドエナジー＝促進地域で方法書意見募集
- ・JFEエンジ 国内初のモノパイル工場＝岡山で24年生産開始
- ・環境相 青森南・有望地域配慮書＝眺望・渡り鳥へ影響懸念
- ・北九州市 浮体式洋上風力を調査＝離島に電力供給、地産地消
- ・カーボンリサイクルWG＝船舶ゼロエミ燃料に有望
- ・新潟港海岸 大規模地震津波訓練＝誘導看板デザイン等検討
- ・港湾都市協議会 来年は室蘭市で開催
- ・九州地整 令和3年海の日表彰＝海事功労者など

- ・北陸地整 優良工事・技能者等＝各港湾事務所表彰
- ・関東地整 海事功労者表彰授与・伝達式
- ・関東地整・湾口航路事務所 優良工事・技能者表彰
- ・京浜港湾事務所 優良工事・技能者表彰
- ・千葉港湾事務所 優良工事・技能者表彰

■令和3年7月26日号（第1748号）

- ・浅輪港湾局長 就任会見で抱負語る＝国民生活向上へ3つの姿勢
- ・関東地整 横浜港・川崎港CNP＝第1回形成推進会議開催
- ・国土交通省 グリーン社会実現推進本部設置＝全施策に脱炭素化組入れ
- ・国土交通省 東京五輪準備本部開催＝日本の魅力を発信
- ・国土交通省 日ASEAN交通会合＝大臣会合の報告内容合意
- ・港湾局 みなとオアシス気仙沼＝全国150箇所目の登録
- ・茨城港 東防波堤築造と本体製作＝常陸那珂港区、県の側面護岸も整備
- ・能代港 用地造成の護岸設計＝洋上風車の部材置場
- ・東京都 浜離宮・辰巳・芝浦＝排水機場計画検討調査
- ・仙台石巻港 石巻港区南防波堤＝地盤改良の手続き
- ・神戸港 神戸港航路浚渫2件手続＝20万～30万m³、防波堤撤去跡等
- ・和歌山下津港海岸 内海水門・護岸築造工＝扉体製作や設置、吐水等
- ・高松港 備讃瀬戸航路の浚渫工＝水島航路交差部の増深へ
- ・エネ庁 洋上風力発電コスト試算＝前回試算から大きく低下
- ・各地方整備局 社会資本整備重点計画＝令和3年度意見募集開始
- ・港空技術振興会 3年度定時総会開催＝新会長に横田氏就任
- ・日鉄エンジ タイ国で天然ガス建設工事＝第3期事業、「くろしお」投入
- ・環境相 鹿児島県沖洋上風力＝環境相意見を経産省へ
- ・八峰町・能代市沖 洋上風力促進協議会＝とりまとめを行い公表
- ・関東地整 水際・防災対策連絡会議＝五輪の安全に連携強化
- ・東京港 全国初の混雑「見える化」＝待機時間等をWEB掲載
- ・関東地整 港湾空港功労者表彰＝17人、5団体に授与
- ・北開局 港湾空港関係功労者表彰＝前利尻町長と函館事業者
- ・国総研 優良業務と優秀技術者＝令和2年度表彰
- ・四国地整 令和3年港湾等海事功労＝1個人、5団体を表彰

■令和3年7月19日号（第1747号）

- ・環境省 第1回着床式残置検討会＝廃棄基準と申請を明確化
- ・北陸地整 第4回新潟港CNP開催＝阿達総理大臣補佐官も出席

- ・東京港 第9次改訂計画構想部会＝防災・管理と物流環境
- ・九州地整 第1回北九州港CNP検討会＝排出量推計し施策整理へ
- ・横浜港 シャーシシェアリング研究会＝位置情報実験の結果報告
- ・政府／国交省 特定港湾整備基本計画＝令和3年度を閣議決定
- ・横浜港 山下ふ頭で耐震強化岸壁＝来年度要望、臨港幹線新港～本牧間も
- ・湾岸道路 横浜国道が設計委託＝八景島～夏島橋梁計画
- ・七尾港 航路浚渫外工事＝国際物流ターミナル整備
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業＝最終ケーソンを築造へ
- ・宮崎空港 エプロンの耐震改良等＝7番スポット外4件
- ・中国地整 水際・防災の合同会議＝港湾強靱化の推進など
- ・エネ庁 風力政策室を新設＝洋上風力拡大へ体制強化
- ・東洋建設 サイホン式余水排水工法＝CO2排出量削減にも寄与
- ・関門港湾建設 WEB現場見学会＝関門国際高生57名、航路、港湾の役割学ぶ
- ・白海 リモート現場見学会＝関門航路浚渫工事、八幡工業高生が学習
- ・東北地整 木材の利用拡大目指す＝輸出促進等へ初会合開催
- ・能代港 日本初の洋上風力作業船＝秋田OWサービス新造
- ・長崎県 洋上風力西海市江島沖＝着床式の魚礁効果を期待
- ・東邦ガス 「CNへの挑戦」を策定＝洋上風力事業開始を示唆
- ・ENEOS 仏技術系企業と開発提携＝特許技術携え浮体式促進
- ・令和3年「海の月間」行事・イベント

■令和3年7月12日号（第1746号）

- ・政府 令和4年度予算基本方針＝特別枠復活でCNP支援
- ・港湾局 第1回CNP検討会要旨＝洋上風力も絡めた議論提案
- ・国土交通省 グリーンチャレンジとりまとめ＝港湾CNPなど6大施策
- ・海事局 第3回内航CN検討会＝2030年排出目標を深掘り
- ・横浜港 WTO防波護岸築造3件＝新本牧、HBケーソン製作4件も
- ・東京港 中防外側Y3バース＝関東地整、試験杭と航路泊地浚渫
- ・東日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望①
- ・神戸港 神戸港水深12m航路浚渫＝30億円未満のWTO2件
- ・広島空港 RESA用地造成工へ＝土砂仮置場確保等
- ・近畿地整 神戸港水際・防災連絡会議＝出水期の防災や港湾強靱化
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震強化で海上地盤改良
- ・海洋政策参与会議 菅総理に意見書を提出＝重点施策に洋上風力促進
- ・八峰町・能代市沖 洋上風力促進区域協議会＝とりまとめに向けて議論
- ・室蘭市 室蘭港の経営戦略策定＝料金見直し、荷捌き地拡大

- ・国土交通省 北海道総合開発の事業配分＝釧路港泊地整備に8億円
- ・海洋・港湾構造物設計士会＝令和3年度定期総会開催
- ・港湾局 みなとオアシス浜名湖＝149箇所目登録
- ・神戸港 海上物流改善へ制度拡充＝トライアル事業を公募
- ・IAPH総会開催＝副会長に篠原氏就任
- ・環境相 青森南・有望地域配慮書＝国定公園眺望の影響懸念
- ・横浜港 八戸港協議会と連携協定＝横浜市がコンテナ追加補助
- ・鹿島港・空事務所 常陸那珂港区合同点検＝北ふ頭外貿地区保安設備
- ・神戸市港湾局 小口混載サービス支援＝開設事業者に補助金

■令和3年7月5日号（第1745号）

- ・国交省人事 浅輪港湾局長、高田技総審＝遠藤参事官、中村近畿副局長
- ・港湾工事あり方 公告時チェックリスト明示＝施工条件を網羅的に確認
- ・洋上風力 基地は促進区域に要近接＝効率化へ港湾役割分担も
- ・沿岸センター理事長＝宮崎祥一氏が就任
- ・伏木富山港 水深14m岸壁改良築造外＝新湊地区、クレーンレール基礎等
- ・仙台塩釜港 築造工事2件手続き＝向洋地区水深14m岸壁
- ・酒田港 北港地区第二北防波堤＝ケーソン2函を製作
- ・東日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望④
- ・名港管組 ポーアイの利活用素案＝エネルギー等3機能描く
- ・和歌山下津港 マリーナシティのIR＝次期港計への取込も検討
- ・下関港 本港地区水深10m岸壁＝ROROバース、老朽化対策で耐震強化
- ・宮崎港 南防波堤の粘り強い化＝アスファルトマット敷設
- ・下田港 防波堤（西）開口部締切＝HBケーソンの細部設計
- ・西日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望⑤
- ・経済産業省 グリーン電力WG立ち上げ＝洋上風力、低コスト化と商用化を議論
- ・久慈市 浮体式洋上風力調査＝検討委員会で本格化
- ・大坪海事局長「洋上風力を国内産業に」＝発展へ施策3本柱を提示
- ・埋浚協 カーボンニュートラル部会設置＝港湾分野の脱炭素化促進
- ・国交省 令和3年版首都圏白書＝京浜港の国際競争力強化を報告
- ・経済産業省 新潟北部沖洋上風力＝風力部会で方法書審議
- ・能代市 令和4年国・県への要望＝能代港活用と洋上風力
- ・東亜建設工業 冷蔵倉庫の耐震補強＝冷温下の施工法開発
- ・令和3年度都市景観大賞＝清水港が景観まちづくり大賞受賞
- ・世界初水空合体ドローン＝KDDIらが開発
- ・港湾局 港湾でトラック自動運転＝実証事業の公募を開始

- ・東京港 東京五輪での混雑回避＝深夜の貨物搬出入可能に
- ・横浜市港湾局 施設指定管理者を公募＝横浜港シンボルタワーなど
- ・国総研 「国総研 20 年史」を刊行＝平成 13 年からの研究成果
- ・国土交通省 第 6 回国土計画推進部会＝展望・管理の総案を審議
- ・海・港維持管理士会＝第 20 回講演会開催
- ・P I A N C 日本部会 理事会、総会で議案了承＝柴崎准教授、スエズ運河同行で講演
- ・リサイクルポート推進協 3 年度書面決議で議案了承＝鉄スクラップの循環資源等
- ・港湾局 遠隔操作 R T G 導入促進＝A I 目指し補助事業開始
- ・総合政策局 物流大綱の報告会＝委員に K P I と推進体制
- ・地球環境研ら 海洋生物の C O 2 吸収解明＝三大湾は世界有数の吸収源
- ・日本港湾協会が公募＝令和 4 年度研究助成
- ・港湾局 東京湾・海的环境再生賞＝対象活動の募集を開始
- ・京浜港湾事務所 保安施設合同点検実施＝川崎港東扇島 C T など
- ・木更津港 テロ対策強化合同点検＝埠頭保安設備で関係者
- ・東京港 無電柱化整備計画を改定＝道路・敷地すべて対象に